

放課後等ディサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2023年12月28日
事業所名: 夢門塾ゆうゆう神辺・神石高原	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	7	0	0	・学習、運動、自由時間など行動にメリハリをつけやすい環境を作っていく。 ・神石は広い運動場を有効に使っている。合同行事にも活用したい。
	②	職員の配置は適切である	1	2	4	・安全を十分に配慮し運営できるよう努めてまいります。
	③	衛生面の管理が行き届いている	7	0	0	・細かな消毒を心がけている。 ・事業所や送迎車内も、定期的に消毒をするよう気を付けている。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している	5	2	0	・時間配分などの改善策を出し合っている。 ・行事企画書を活用し意見の出し合いを心がけている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	6	1	0	・毎年、12月に保護者評価表を配布し集計後、ミーティングにて共有している。
	⑥	自己評価の結果を公開している	6	1	0	・ホームページにて公表している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	7	0	0	・毎月の夢門塾全体研修の日は、勤務調整をして参加できるようにしている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	5	2	0	・利用者、保護者の立場になって聞き取りや書類作成をするよう心がけている。 ・モニタリング(聞き取り)は指導員も協力して行い、計画は一緒に立てている。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	7	0	0	・職員配置も考慮し、安全に運営できる活動計画を立てるよう話し合い作成している。 ・パート職員にも案をもらい、チームでの企画を意識している。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している	7	1	0	・活動計画書を元に、全員で相談して計画できている。 ・季節の行事や運動、工作などさまざまな経験をしてもらえるように工夫している。 ・映像の日を設定し、スライドを見ながら新しい発見や復習の場を作っている。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	6	1	0	・2部営業の日の活動内容を決めておらず当日設定することがあったので、人数に関わらず事前に設定し、適切な職員配置をしていく。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	7	0	0	・基本的には集団活動だが、利用者の様子によっては個別で対応をしている。 ・下校時間や様子を考慮して、集団と個別での対応を変えている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	1	0	・職員配置図を作成し、全員に周知できるよう心がけている。 ・できない場合は口頭での共有になっているが、お互い意識して行動できている。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	2	0	・職員共有ノートを作成し、出勤時には必ず目を通すようにしている。利用者やご家族の気になる言動を記入、共有することで同じ方向を向いての支援に繋がっていると思う。 ・重要な内容はコピーをとり書面にして、相談支援員に共有している。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	7	0	0	・受給者証更新月に間に合うように、モニタリング日を調整している。 ・対象者が多い月には翌月に行うことあったため、気を付けていく。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6	1	0	・夢門塾三本柱(運動・学習・生活)が入るよう意識している。 ・自然災害が多くあるため、命を守る学習も取り入れている。

関係機関、保護者様との連携	⑯ 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行えている	7	0	0	・神石は8~9月で神石高原町内小学校5校に伺い、利用者全員(17名)の情報共有を実施した。 ・神辺は送迎時に多く、個別での実施は全員ではない。気になることがある場合には相談支援員に相談し、関係機関が集まり話し合いを行っている。
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている	5	1	1	・神石は、来見小学校校長先生が時々(やまびこ学童も含め)様子を見に来て下るので、その際に相談することもある。 ・密に連携をとれているとは思わないため、必要な情報共有を行ってく。
	⑲ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している	3	4	0	・神辺は、情報共有や活動内容の写真をお渡しするなどして実施している。 ・神石は、該当者なし。
	⑳ 児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	2	0	・直接連絡を取ることはないが、様子が気になる子については相談支援員を通して連携をとるようにしている。
	㉑ 日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	7	0	0	・送迎時やコドモン、連絡ノートにて様子を伝えている。 ・課題についても、気になる事はすぐ対応するようにしている。
	㉒ 運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	5	2	0	・契約時に管理者が伝えているが、利用開始後に不明点が出てきた場合には遠慮なく連絡をいただけるようお願いしている。 ・口頭と書面にしてお伝えするなど、ご家族様に合わせた伝え方を心がけている。
保護者様への説明責任等	㉓ 保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	6	1	0	・必要な場合には相談支援員やご家族様と情報共有の時間を設けている。 ・12月から異動で来たので、相談は今はまだない。 ・まず聞き手になり、ご家族の不安感などをお聞きしている。
	㉔ 保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	3	1	3	・神石は11月に開催し、運動・ミニゲーム・スライド鑑賞を行った。毎年開催希望の声も多数いたいた。 ・神辺は感染症拡大に伴い、開催を延期した。
	㉕ 子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7	0	0	・管理者に伝え、迅速に対応することを心がけている。 ・管理者不在時に備え管理者の元、職員が伝える練習もしている。
	㉖ 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	4	0	3	・神石は毎月「ゆめだより」にて、写真や文章で活動内容をお知らせしている。そのおかげで、スポット利用に繋がっている傾向にある。 ・神辺は3月以降発行しておらず、楽しみにしてくださっている声も聞くので、発行に向けて計画していく。
	㉗ 個人情報保護に十分注意している	7	0	0	・鍵付きの書庫にて保管し、外部の方が来られる場合には施錠している。
	㉘ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	7	0	0	・利用者ご家族共に、その方に合った伝え方(口頭・書面・日を置いて数回伝えるなど)をするよう配慮している。
	㉙ 地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	4	1	2	・地域に開かれた事業運営とまではいかないが、公民館や体育館をお借りしたり地域の清掃活動を行うなどして、夢門塾を知っていただくことは意識している。
非常時などの対応	㉚ 緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	7	0	0	・会社からの通達があった場合には印刷し、職員全員が周知できたかを確認するようにしている。いつでも確認できるよう、分かりやすい場所に保管している。
	㉛ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	7	0	0	・年に2回の消防避難訓練の他、地震や洪水など自然災害時の避難についても学習をしている。
	㉜ 虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	0	0	・夢門塾全体研修で、虐待と身体拘束についての研修に参加している。
	㉝ いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	7	0	0	・身体拘束の該当者はいない。
	㉞ 保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	7	0	0	・神辺、神石ともに日中の発達関係の薬の投与はない。 ・風邪薬やアレルギーなどの薬を持参している場合には、職員間で共有し服用忘れのないように留意し、送迎時にご家族に伝えている。
	㉟ ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	4	0	3	・神辺、神石ともに記入が少ないように思う。少しの気づきも共有しておけば後に役立つことがあるので、何かあった場合には記入するよう意識していく。
保護者様評価、自己評価についてまとめ					
・利用者がさまざまな経験を積むことができるよう活動を企画しているが、地域行事参加などで地域との密な関係を築いていくようにしたいです。 ・今年度、夢門塾湯野・御幸・神石・神辺での合同行事を通じて、お友だちの輪が広がり相手を思いやる言動も増えたように思う。2024年も合同行事を継続し、新しい発見ができればと思います。家族交流会の内容も再検討し、保護者様同士交流しやすい場の提供、安心できる場所になれるよう努めます。 ・活動については子どもたちに案をもらしながら、通所を楽しみにしてもらえ、たくさんの経験ができる場所になれるよう努めます。 ・これからも安心してご利用いただけるよう職員同士支え合い、楽しく通所いただける事業所になれるよう努めます。					